

「順序に気を付けて、正しく読み取る力」の育成を目指した学習指導

第2学年 「たんぽぽ ～たんぽぽレポーターになろう～」の実践を通して

新潟市立白山小学校 教諭 勝山 操

1 授業改善の視点

(1) これまでの指導方法の問題点

教科書が新しくなり、2年生になっての初めての「説明文」である。説明文の指導では、書かれている内容をまとめたり、順序が分かるようにまとめたりしてきた。また、挿絵に読み取った内容や語句を記入させたりして、文章と対応させながら読んできた。こうした指導方法も正しく読み取ることにつながる。しかし、子供自身が、もっとよく知りたいと思って読んだり、言葉や挿絵の部分などにこだわって読んだりできるようにしたいと考えた。また、自分のもっている知識や経験と比べて読んだことをまとめられるようにしたいと考えた。

(2) どう改善するか

正しく読み取る必要性をもたせるための
「たんぽぽレポーター」

本単元では、「読むこと」の目標を「事柄の順序に気を付けて読み、書かれている内容を正しく読み取ることができる」とした。子供が、書かれていることを「正しく読み取ろう」と思い、文章の語句や順序に気を付けて読みたくなるような工夫が必要だと考えた。そこで、「たんぽぽレポーター」になろうと働き掛けることにした。学習したたんぽぽのことを正しく伝えようとする目標をもつことで、教材文に書かれているたんぽぽの根や花のこと、育つ順序について興味をもち、語句にこだわって読むことができると考えた。

また、「たんぽぽレポーター」として、教材文の内容を正しく伝えるとともに、「レポーター」として自分の考えを伝えることもできる。これは、学習指導要領「C読むこと (1) - 5 文章の内容と自分の経験を結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと」を受けている。学

習を通して、子供は、たんぽぽについて初めて分かったことや驚きをもつことが予想される。それを「レポーターの一言」として、自分の考えや感想を書くことができるようにする。

挿絵と文章とを結びつける「キャスター読み」

教材文には、扉ページを含めると、写真が2枚、挿絵が5枚、掲載されている。これらと自作資料としての挿絵(6枚)を活用して、文章で読み取ったことを確かめたり、挿絵を示しながら、文章を読んだりすることが、正しく読むことにつながると考えた。そのため、音読に合わせて、挿絵や写真の対応する部分を指し示しながら読む「キャスター読み」を行う。

2 授業の実際

(1) 指導計画

第1次 学習の進め方を知る。(2時間)

- ・たんぽぽについて知っていることを「たんぽぽマップ」に書く。
- ・「たんぽぽレポーター」になって、学習したことを正しく伝えるという学習の進め方を知る。
- ・漢字や語句の学習をする。

第2次 順序に気を付けて書いてあることを読み取る。(6時間)

- ・全文を音読する。
形式段落に分けて、書かれている事柄ごとに4つのまとまりに分ける。
- ・たんぽぽが丈夫な草である理由や根の様子み取ることができる。
- ・時を表す言葉をおさえながら、花の開閉について読み取ることができる。
- ・たんぽぽの仲間の増やし方について読み取

ることができる。

第3次 たんぼぼ発表会を行う。(2時間)

- ・たんぼぼレポーターとなって、クラスで発表会を行う。

(2) 本時のねらい(7/10時間)

たんぼぼの仲間の増やし方を、挿絵の順序をもとに読み取り、必要な語句を用いて、「たんぼぼレポート」に書くことができる。

(3) 活動の流れ

本時は、形式段落の⑥～⑩までを扱い、たんぼぼが仲間を増やす様子についての順序を読み取る学習である。まず、たんぼぼの変化を6枚の挿絵にした。(挿絵は、指導書からの引用と自作資料)次に、それらをばらばらに提示して、子供たち一人一人に順序を考えさせた。

はじめは、挿絵だけを見て、考えている子供もいたが、教材文を読み順序を確かめて始めた。子供たちの並べ方で、1番をどれにするのか2通りに分かれていた。そこで、2枚の絵のどちらが、はじめになるのかを検討した。

- C 1 実が倒れているところです。
- C 2 花が咲いているところです。
- C 3 花が咲いてから、だんだんしぼむから、1番の絵は、花の咲いている絵です。
- C 4 1番は花の咲いているのです。まず花が咲いて、倒れて、綿毛になるからです。
- T 1 教科書の何番を読むと分かるかな。
- C 全員 ⑥です。
(全員で音読する)
- T 2 花がしぼむとどうなるのでしょうか。
花の茎は？
- C 5 倒れる。
- T 3 正しいのは、どちらでしょう。
- C 全員 花が咲いている絵に挙手する。
- C 6 花が咲いてしぼんで倒れると書いてあるから、花の咲いているのが1番の絵で、しぼんでいるのが2番で

す。

挿絵の表している部分と文章やキーワードとなる語句を確認することで、どの順序が正しいのかを理解することができた。挿絵の順が正しくできたところで、音読に合わせて、挿絵の重要な部分を指し示す活動(キャスター読み)を行った。

一人一人が順序を確認しながらキャスター読みをしたり、友達の発表を聞いたりしてたんぼぼが仲間を増やすまでの様子を読み取ることができた。

また、「レポーターの一言」として、学習して分かったことや自分の考えたことを書かせた。

A児

みがじゅくすまで、くきがひくくたおれているとは、おもいませんでした。

そうなっているところをこんど見てみたいです。

B児

わたしは、いろいろなところで、たんぼぼの花やわた毛を見たことがあります。だけど、くきがたおれているところや白いぶ分がすこしか見えていないところは、見たことはありません。わたしは、こんど見てみたいなおもいました。

C児

花がしぼむとみがそだっていくなっておもいませんでした。すごいです。じゅくすとたねができるなんてすごいです。

D児

花は、そのじきによって、すがたをかえていくけど、たんぼぼは、白くなったり、ひくくたおれていたり、ほかの花よりすがたをかえるのですね。

3 成果と課題

①キャストリー読みについて

たんぽぽの様子を説明するために、挿絵の部分を示しながら、説明ができるようになったのは、正しく内容を読み取ったからである。また、文章だけでは、イメージしにくいところを、挿絵をもとにして、たんぽぽの様子を考えることができた。自分たちが学習して分かったことをレポーターとして正しく発表しようとする意欲につなげることもできた。

②単元の構成について

「たんぽぽレポーター」として、学習をして分かったことを書きためてきた。大事な語句を使ってまとめて書くことに加えて、「自分なるほどと思ったこと」や「初めて分かったこと」を「レポーターの一言」として書いておいたが、意欲を持続させるのが大変だった。毎時間、「レポーターの一言」を書くのではなく、第3次の活動として自分の思ったことを書く活動を取り入れるような単元構成にするとよかった。

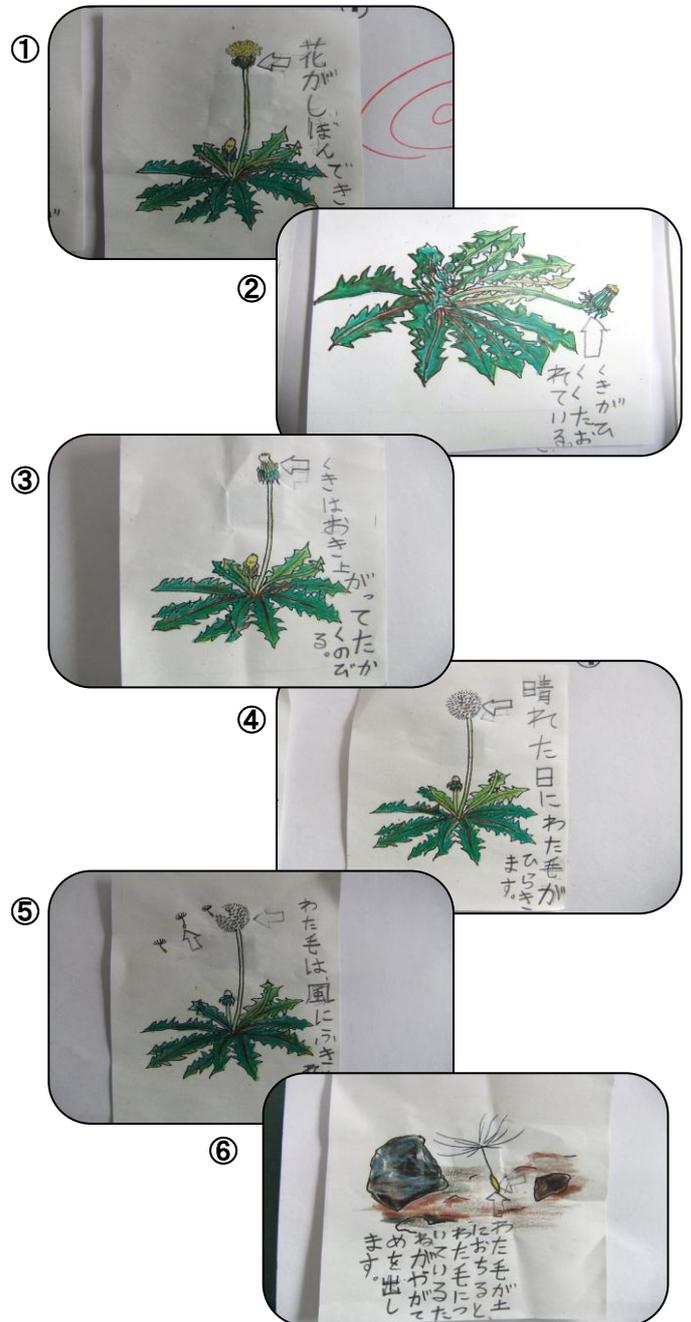
③ 本時の活動について

挿絵を手掛かりとして、たんぽぽが仲間を増やすまでの順序を読み取ることができた。挿絵のどの部分のことなのか、たんぽぽがどうなっていることなのかと文章を読み、大切な文やキーワードとなる語句に着目することができた。また、挿絵の順を並べ替えるということで一人一人が教材とじっくり向き合うことができた。

ただし、低学年における説明文指導で、挿絵の内容や枚数は、文章の内容を理解する大きな手掛かりとなるので、提示する挿絵については、よく検討する必要があった。

4 資料

本時で使用した資料は以下の通りである。たんぽぽの花が育つ様子を絵に表わして、ばらばらのカードにして提示した。それらを並べ替える活動を行った後、それぞれの絵にポイントとなる言葉や文章を見付け、書き込みをした。



①～⑥のカードを右のように並べていった。

